

平成 28 年度 不祥事ゼロプログラムの検証結果について

県立横浜修悠館高等学校

	行 動 計 画	検 証 結 果
1	法令順守意識の向上（公務外非行）	個々人が教育公務員として常にその立場を意識するためには、職場での仲間意識や孤立しない人間関係が必要であるとして、朝の打合せ・行事、各種の研修会やその他様々な機会を利用し職員の意識に浸透させ、良好な職場の雰囲気構築し、公務外非行等の防止に努めた。
2	セクシャル・ハラスメント、わいせつ行為の防止	生徒、教職員間のセクシャル・ハラスメントの防止や、教職員によるわいせつ行為を根絶するため、風通しのよい職場環境および良好な人間関係の構築に努めた。
3	体罰、不適切指導、パワー・ハラスメント	体罰や不適切指導が発生しないよう、日頃の指導に努めた。 そして、生徒や保護者からの問い合わせや質問などに丁寧に対応し、不明な点を明瞭にするよう努めるなど、教員が保護者や生徒と良好な人間関係を構築するように指導するとともに、生徒の健全育成を目指した生徒指導方針を堅持した。
4	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理作業を個別でなく一斉作業とし、それぞれの作業のタイミングで、事故防止策を含めた作業マニュアルの周知徹底を行い、ミスなく遂行することができた。 進路関係書類の作成等に関しては、チェックリスト手順を遵守し、適正に処理することができた。
5	個人情報等管理・情報セキュリティ対策	個人情報の適切な取扱いを図るため、個人情報取扱マニュアルの遵守を徹底し、チェックリストによる点検を実施した。個人情報の誤配送が起きないように、配送手順等の点検と整備を進めるとともに、機会あるごとに職員が意識を持てるよう確認した。また、チェック体制の整備のみならず、点検のミスが起きないように個人情報のフォーマットの見直しを行った。 学校所有USBメモリー以外の外部媒体の利用の完全禁止とその利用徹底及び持ち出しに関するルールの徹底を行い、事故発生の防止に努めた。
6	入学者選抜業務に係る事故防止	作業を開始する前にマニュアルの手順を確認し、マニュアルに示された手順どおり作業遂行の徹底を図るとともに、入学者選抜業務上の情報共有や相互チェック体制の強化に努め、事故発生の防止に努めた。
7	経理処理（公費・私費・現金管理）	平成 28 年度について、適切な予算執行に努めた。また、次年度予算について、適正な編成に努めた。